



<ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2021年8月17日

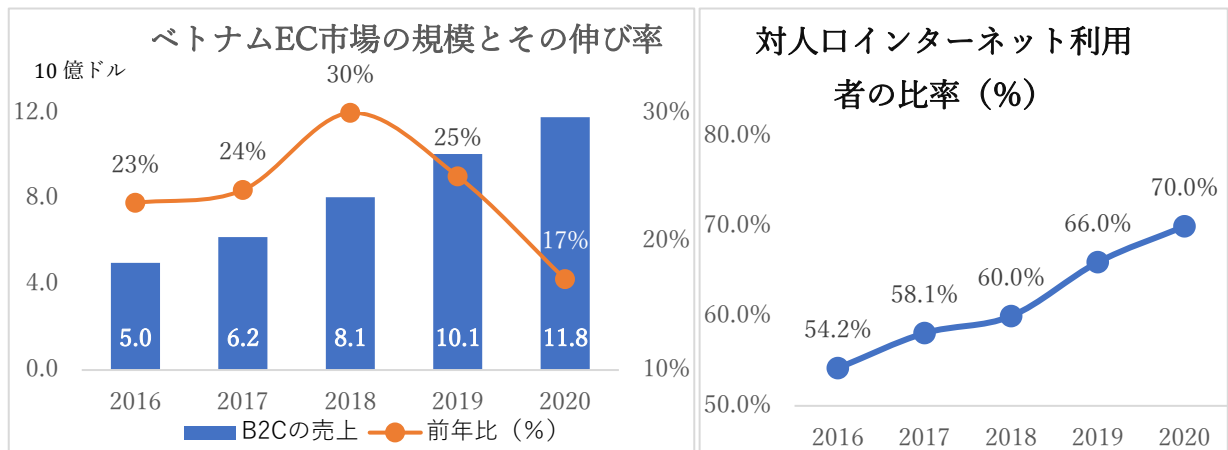
ベトナム電子商取引市場が目覚ましい成長を遂げ

商工省傘下の電子商取引デジタル経済局(IDEA)は7月に「ベトナムのeコマースホワイトペーパー2021」を発表した。発表によれば、ベトナム電子商取引(eコマース=EC)市場の規模は2020年に118億ドルに達し、前年比17%増加した。新型コロナウイルスの影響で多くの経済部門は悪い影響を受けているものの、eコマース(EC)は目覚ましい成長を記録し続け、展望が明るいとされている。コロナウイルスの流行により、東南アジア域内だけでなく、グローバルな電子商取引の発展も強力に促進されているようだ。

コロナウイルスの流行の前、ユーザー1人あたりのオンラインショッピング時間は一日平均3.7時間だったが、コロナウイルス流行中の同時期は4.2-4.7時間になった。

そして、オンラインショッピングを経験したインターネットユーザーの割合は19年の77%から20年には88%にまで拡大した。

消費者が最もオンラインで購入している商品・サービスは食品52%、衣類・靴・化粧品43%、家具・家庭用品33%、本・文房具・花・ギフト・飛行機チケット26%等である。



出所：商工省傘下の電子商取引・デジタル経済局(IDEA), B2C=電子商取引(事業者から消費者向け)

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。